

運営業務委託保護者説明会議事録（佐井寺）第2回目

【日 時】平成28年9月29日 19時30分～21時00分

【場 所】佐井寺留守家庭児童育成室

【参加者】木戸地域教育部次長、脇谷放課後子ども育成課長、日比同主査、四方同係員(書記)

【吹田市より資料（既に民間委託しているアンケート等）の説明】

(吹田市)

全育成室の保護者の皆様にご協力をお願いしたアンケートにおいて、佐井寺育成室の保護者の皆様からは、民間委託に関して、「今までどおりの保育を継続してほしい」や「引継ぎ保育をしっかりしてほしい」というような意見が寄せられています。また、先ほど概要を説明した、山三・青山台の一学期利用に関するアンケートについては、頂いたご意見も全て網羅して書かせて頂いています。中には、厳しいご意見も頂いていますが、様々な課題に対して、事業者は精一杯の対応をしているところでもあります。ご不明なところがあれば、質疑応答の時間でお聞きいただきたいと思えます。

【吹田市より前回説明会概要についての説明】

(吹田市)

前回の議事の内容について、保護者の皆様から頂いた主な意見として、まず「主任指導員の位置づけ」についてです。「主任指導員を設置すること」という漠然とした位置づけについて、「どんなことをしてもらうのか」、「それなりの力量のある方を配置してもらえないようにならないのか」という意見を頂いていました。また、「保護者会活動の継続」については、「今まで通りやってほしい」というご意見を頂いています。

そのような、様々な意見を保護者の皆様から頂き、内部で検討していることとしては、事業者選定会議についてです。これまでの委託事業者選定会議には、保護者の代表は入っていただくことはありませんでしたが、今回からは、プレゼンテーションについては、傍聴を可能にすることです。また、書類の管理については、資料の説明でもありましたが、委託育成室での書類についても、公文書となりますので、これまで以上に、市の書類として適切に管理していくことです。

また、第1回目の説明会については、上記以外には、引き継ぎ保育についてのご意見を頂いています。すべての育成室で同じようなご意見を頂いていますが、ある育成室から「今ある委託育成室の見学をしたい」という希望がありました。これについては、実施することとしており、すでに見学を終えたところもあります。佐井寺育成室についても調整させて頂く運びとなっています。

する。

【吹田市より資料（仕様書（案））等】についての説明】

（吹田市）

【質疑応答】

（保護者）

仕様書変更前後の案についてですが、エピペンの期限管理はどうなっているのですか？しょっちゅう使うものではなく、仮に保健室で管理している児童であれば、育成室で管理することになるのですか？

（吹田市）

エピペンについては、基本は自己管理となります。エピペンの保管場所をきちんと把握しておくということであり、基本は個人での管理になります。

（吹田市）

多くの子ども達は、ランドセルの中で保管しています。こういったことについては、個人面談などで、十分に引継ぐようにします。仮に誤食の可能性がある、アレルギーの症状が出た際には、エピペンをすぐに打ちます、というような確認も必要になってくると思っています。

（保護者）

前回の説明会を踏まえて書類を見せてもらい、保護者の意見をくみ取ってもらっており、ありがたいと感じています。

民間委託育成室の保護者アンケートを見て感じる事としては、どの事業者であっても、指導員の力量が、結果として出ていると感じます。先日、「育成室の指導員と引継ぎを行なう場合には、どのくらいの時間が必要か」という話をしていたところ、最低限 17～18 時間が必要だろうということになりました。現在の指導員の方々は、子ども達 1 人一人の特性（例えば、「A 君が怒ったときには〇〇してあげれば落ち着く」）等を考えてくださっており、引継ぎ期間にそういった点をおさえれば、青山台についても現状より少しでもコンパクトに抑えられていたのではないかと思います。今回、引継ぎ保育の期間として 10 日以上と書いてもらっていますが、もう少し増やしてほしいと思います。最低限で 17～18 時間ということは、実際に引継ぎをしていけば、他にも時間を割くことが出てくると思います。1 日 2 時間と考えても、その 2 時間をすべて引継ぎに充てられるか等を考えると、もう少し長いスパンで考えてもらい、十分な時間を確保してほしいと思っています。おやつに関しては、子どもの嗜好の問題もあるので、決定してから伝えていったほうがいいのかと思います。

以前、育成室の中で待機していた時に、現在の指導員が、子ども達の帰室前に、細かい打ち合わせを行っている様子を見たことがあります。そういったところは、すごいと感銘を受けたところでもありますので、委託事業者の指導員にも同様のレベルを望んでしまいます。1人一人の特徴をきちっと伝えてもらえれば、保護者はすごく安心できます。施設面については、事業者がお金を持っていれば、施設の充実が図れる一方、直営の場合は、他の育成室との兼ね合いもあり、順番待ちになってしまい、目をつむっているところもあります。（※施設の整備については、委託であっても市が責任を持つものになります。）

でも、豊よりも毎日過ごす環境が大事だと思います。過ごし方についても、そろばんや英語の時間は、あればありがたいとも思いますが、それ以上に、子ども達がみんなで、段ボールで制作をする時間、勉強ではなく、子ども達が楽しんで過ごす時間の方を大事にしてほしいと思います。

（吹田市）

ご意見を頂いた引継ぎ保育の件については、仕様書に書いている時間は「育成室に入って子ども達との関係作りをする時間」です。指導員同士が話しをする引継ぎについては、は別に時間を設ける必要があると考えています。これまでの例で言いますと、午前中から現在の指導員が出勤し、新しい指導員と話しをする引継ぎをしていました。子どもとの関係つくりのために育成室に入る引継ぎでは、関係づくりに専念することが大切であると思います。

指導員間での引継ぎについては、あらかじめ書類を作成し、委託事業者の指導員にしっかりと目を通した上で臨むようにしてもらいます。何も準備もなしに、いきなり引継ぎをスタートさせるのでは、不必要な時間を要してしまうので、今、述べたようなかたちが必要と考えています。保護者の皆様の意見も聞きながら、そのような時間を聞きながら引き継ぎをしっかりと、4月をスタートさせることが大切だと思っています。仕様書には10日以上という書き方にはなっていますが、3月までに懇談会の場を設け、保護者の皆様の思いをお聞きしたいと思っています。そこでの保護者の皆様の心配や要望を踏まえたうえで、引継ぎ保育をしていくものであると思っています。

また、そろばん等については、評価している保護者の方もいますので、必要のないものと思っ
てはいません。けれども、みんなで作品を作り上げることも、とても大切であると思っています。

（保護者）

「(そろばんや英語などの事業者独自の取り組みを)色濃くやっています。」というのは保護者
目線にとれます。子ども達が望んで行っているのかという点を大切にしてもらえれば、ありが
たいと思います。もっとも、様々なことをすることも、ありがたいとも感じているところですが。

（吹田市）

そろばん等の事業者独自の取り組みについては、想定よりも進んでいないところもあると思っ
ています。授業がある時は、「そこまで割く時間がない」というように思っているところもある
のではないかと考えています。一日保育中については、そろばん等を保育時間に取り入れること

で、長い時間の生活にメリハリもつきます。授業がある期間は、「育成室は、子ども達にとってリラックスするところになってほしい」という保護者の皆様の意見もあります。

(保護者)

山三のアンケートで、体調が悪い時の連絡が無かったというようなことが書いてあったが、直営時の連絡帳の使い方と、委託になった際の使い方について、仕様書に書いたりできないのですか。

(吹田市)

連絡帳の使い方について、そのような指摘を受けたことは反省すべきことであると思っています。このことについては、事業者とも話をしています。特に何も無い日については、サインや少しコメントをするという簡素化をしており、少しでも子ども達と向き合う時間を作りたいという考え方で保育に当たっています。

最初は、連絡帳の記入に時間をかけると、子ども達の輪の中に入る時間が限られてしまうので、何も無い日については連絡帳には何も書かないという方針でした。しかしながら、保護者の皆様と懇談をする中で、それでは、「連絡帳を指導員が見たのかどうか分からない」となり、「指導員が連絡帳を見た」ということが分かるように、サインだけでもするようにしようとなりました。

したがって、現在の連絡帳の使用の仕方であれば、「連絡帳の記入がない」というような、意見はいただくことはないのですが、実際はいただいています。個人の見解ではありますが、指導員と保護者との間に認識の違いがあるのではないかと考えています。「報告するまでもないちょっとした怪我」という、甘い認識があったのではないかと考えています。指導員の思いと、保護者の方の思いが異なっていると考えられるので、指導員自身の基準を厳しくして、連絡帳の記入をしてほしいと伝えています。

(保護者)

お菓子の内容が、アイスクリームや袋菓子とかかかっている意見がありますが、直営の育成室と同等レベルでのお菓子の提供について、今回のアンケートを機に対策はしていただけないのですか。

(吹田市)

おやつについては重要なポイントであると認識しています。事業者も、添加物を使っていない等、気をつけていると思っていますが、アンケートの意見のように、おやつの内容について、もっと意識が高い保護者もいらっしゃるのかと思っています。もちろん、毎日、アイスや袋菓子だけを提供してはおりません。今後も、引き続き重要なポイントであることを事業者にも伝えていければと思っています。

(保護者)

2年生の児童で、直営から民間委託になり、それを機に退室された方がいるということですが、市ではどのように把握されているのですか。

(吹田市)

今年度から民間委託となった育成室で、民間委託に関して、ものすごく反対されていた保護者の方がいました。その方は、今日のような説明会の時から反対の意見を出されていて、委託業者決定の後の最後の懇談会の後に、入室を取り下げる届を提出されました。これについては、電話で課長から、「しっかりと進めて行きますので、もう一度入室を考えて頂きたい。」という旨の話をしましたが、結局、入室せず、現在に至っています。そういった方にも戻ってきてもらえる児童を目指していかなければならないと思っています。この件については事業者にも伝えていますが、市として把握しています。その他は、特に聞いていません。

(保護者)

その方は、何が理由で辞退されたのですか。

(吹田市)

民間委託に対して、漠然と不安をもたれていたというイメージです。どこが不安というより、委託そのものが不安というようにおっしゃられていました。

(保護者)

事業者の選定期間は、事業者の責任者が来られると思っていますが、実際の指導員になられる方に、市や保護者が会えるのはいつごろになるのですか。引継の時点までどなたが担当なのか分からないのですか。

(吹田市)

今年度については、懇談の時に保護者の皆様に対して、挨拶を行っています。

(保護者)

ということは3月に入ってからですか。

(吹田市)

もう少し早い時期になります。子ども達との関係作りのための引継ぎ保育までには、懇談会の場で紹介させていただく予定です。

(吹田市)

そのあたりの内容については、後ほどご説明させていただきます。

(保護者)

市の担当者が、新しい指導員に会うのもそれくらいの時期になるのですか。事業者選定時には、会うことはできないのですか。

(吹田市)

新しい指導員と会うのは、事業者選定時よりは後の段階になると思います。これについては、事業者側がどのタイミングで主任指導員を決めるかにもよります。前回で言うと、山三の主任指導員は千里丘北の主任指導員であったので、あらかじめ知っていました。青山台については、1月の早々には決定しており、その後、市との打ち合わせに同席し、顔合わせを行いました。

(保護者)

事業者選定における配点について、動機や指導員のことなど、子どもに直接関わる点において、重視していることとは思いますが、「やや劣っている」評価を受けても平均が60点以上であれば、「劣っている」評価がなければ、採用になるということだと思います。それは、例えば、「児童に関する知識や経験を有するものが配置されているか」や「児童の健全育成に対する取組や方針」が低かったとしても、他の項目の評価が高かった場合で、平均が60点以上であれば採用になるということですか。それでは、不安に思ってしまう。

(吹田市)

この事業を進めていく中では、子どもたちと接する保育のことについては、一番大事であると思っていますので、高い配点にしています。児童の保育に関する部分の評価が低くても、それ以外の評価が高いため選定されるといったことがないように、児童の保育に関する項目の評価が低い場合は、一気に点数が落ちる設定にしています。けれども、他の項目、例えば、児童虐待に関する項目、についても、この事業を進めるうえで欠かせないものであります。あまり、直接子どもに関わる項目についての配点を高くすると、児童虐待に関する部分の評価が低くても選定されることになってしまい、それについても避けなければなりません。しかし、全体的には、直接子どもに関わる項目の配点を高かくし、そこで評価を落とすと、全体の点数としても厳しくなるようにしています。

(保護者)

評価項目の内訳は最終決定した後、保護者にも教えてもらえるのですか。

(課長)

選定委員、選定された事業者以外の事業者の名前は伏せた状態になりますが、1次審査、2次

審査の採点結果はホームページに掲載します。今回もきっちりとお示しするようにします。

(保護者)

その採点結果をみて、市は改善を促す要望をすることを考えているのですか。採点の低いところについて、再度検討してほしいと指導をする等はあるのですか。

(吹田市)

それは必要だと思っています。例えば、緊急時の連絡体制、安全対策が甘いという点数結果が出ていたのであれば、市としても、もう少し考えてくださいというような依頼はしていかなければならないと思っています。

(保護者)

民間委託は3年の契約だと思うのですが、3年後に事業者の変更に伴って、指導員が変わることがあれば、それは保護者にとっても子どもにとっても負担になります。3年後の契約期間満了時は、再度公募になるのですか。そのあたりは、どのような形で決まっていくのですか。

(吹田市)

公の事業を委託する場合は、原則として、公募を行わなければなりません。ただし、福祉事業については、継続性も求められるので、事業者がきっちりと業務を行っているのであれば、次の契約期間は、公募をせずに契約（「単独随意契約」と言います）してもいいのではないかと、というような動きもあります。原則どおり公募となった場合でも、現在の事業者がしっかりと保育をしている場合は、次の公募に手を挙げた場合は、実績があるものとして有利になるかと思われます。

(保護者)

次の公募の際に、保護者の「同じ事業者で継続してほしい」という声は反映されるかたちになるのですか。

(吹田市)

委託開始後に願います、アンケートにおいて、例えば、「この事業者はどうなっているんだ」という声が多数寄せられることがあれば、次回の公募時に、事業者を変えてみようとするようになるかもしれません。市の事業として、委託の状況をきっちりと把握していく必要がありますので、保護者の皆様には、お手数をかけてしまうことではありますが、アンケート等に定期的に協力をお願いしたいと思います。また、市としても巡回する中で、適切な保育が行われているかを見ていきたいと考えています。

(保護者)

現段階でどのくらいの事業者が手をあげているか、教えてもらえますか。

(吹田市)

公募開始前なので、現時点でどの事業者が手を上げるのかは把握していません。市内の事業者から、詳しい質問を受けたり、育成室の見学をしたいという要望はあります。現在、市から事業者に対し、計画についての案内をしている段階であります。

(保護者)

現在、千里丘北と山三が同じ事業者が受託をしています。もし、その事業者が手を挙げて、もうひとつ増やそうとした際には、前回、千里丘北から山三に指導員が移るといったことがあったように、それぞれの育成室での指導員の配置が薄くなるのではと心配しています。

(吹田市)

同じようなご指摘を、他の説明会でも受けています。今回の千里丘北のアンケートを見ていただくと、保護者の皆様の満足度、子どもたちの満足度、共に前回の分と比べても、それほど変わってはいません。事業者としても、委託する育成室を一つ増やすに当たって、指導員配置を薄くするのではなく、同じような質を保つことができると確信した上で、指導員の異動を行っています。今回は、その事業者が手を上げるかどうかは分かりません。我々も話をしないことにしています。ただし、仮に、手を挙げたとしても、それぞれの指導員の配置を薄くし、質を下げることはあってはならないと考えています。

(保護者)

3年後、再度公募をする時に、どこからも手が挙がらなければ、どうなるのですか。

(吹田市)

その時に、受託している事業者も含めて手が挙がらないのであれば、直営に戻すこととなります。ただ、事業者は地元で活動をされている場合も多く、委託を止めるということをする、信用にも傷がつくと思われるので、そういう心配は少ないかと思います。

(吹田市)

その他、ご質問ございますか。時間も遅くなってきましたので、もし今後、質問等が出てくることありましたら、配布資料前面の連絡先に、保護者会としてでも、個人としてでも頂ければと思います。

【吹田市より、今後の予定についての説明】

(吹田市)

第2回目の説明会としまして、本日の佐井寺育成室を皮切りに、10月14日まで回らせて頂くことになっています。そこで頂いた意見については、今後、できるだけ、仕様書等に反映していきたいと考えています。仕様書・募集要領を完成させ、10月中旬～下旬にかけて、事業者の募集を始めていこうと考えています。募集期間は1か月程度を確保したいので、11月中旬～下旬までの期間と考えています。二次審査（プレゼンテーション）については、12月の中旬ごろになってくるかと思っています。二次審査に、保護者皆様の傍聴が実現するのであれば、それまでにご案内させていただきます。その後、審査を経て事業者が決定するという予定です。保護者の皆様には、応募の締め切り後に、募集状況等について、文書でご説明させていただきたいと考えています。また、事業者の選定結果についても文書でお知らせします。事業者決定後は、市の担当者が間に入り、保護者の皆様、事業者と日程調整をした後、できるだけ早い段階から打ち合わせ等に入りたいと考えています。今後の予定としては以上のとおりです。

また、今後、他の5育成室で説明会を行い、再度、こういった形の説明会が必要であれば、決定するまでに、もう一度開かせて頂くかもしれません。その際は、改めてご案内させていただきます。その場合は、ご足労頂くことになるが宜しくお願いします。

以上になりますが、最後に全体を通して何か質問はありますか。

(保護者)

10月中旬の募集の段階で、どれだけ手が上がったかは教えてもらえるのですか。

(吹田市)

もし公表をするのであれば、手を挙げようとしていた事業者が、他の事業者が既に手を挙げていることを理由に、辞められるかもしれないので、募集を締め切った段階までは公表は行いません。

(保護者)

締め切った段階では、いくつの事業者から手が挙げられているかは分かりますか。

(課長)

その時点では、お知らせいたします。仮に、応募がない場合は、無いというお知らせになります。

(吹田市)

皆様、長時間お忙しい中ありがとうございました。やはりお預かりするお子様が安全に、また保護者の皆様が安心して預けられるような育成室運営を、我々は目指していきたいと考えていま

す。今まで直営の指導員も頑張ってきているので、保護者の皆様の不安が大きくなっているという点で、現在の直営の運営が、評価して頂いていることを我々も喜んでます。それに負けない、追いつくような事業者が手を挙げ、保護者の皆様のお力も借りて、良いものにしていけるようにしていきたいと考えています。これからも、色々なご意見を頂きたいと思っていますので、今後ともご協力を、どうぞよろしくお願い致します。本日はどうもありがとうございました。